

委員会活動報告書

委員長名 芳我 ちより

【委員会名】 広報・国際委員会	
【メンバー】 ◎芳我ちより(香川大学)、○岡本菜穂子(上智大学)、 吉川 悦子(日本赤十字看護大学)、小田美紀子(島根県立大学)、¥武井 勇介 (山梨大学) 相談役・サポート:井口 理(日本赤十字看護大学) 50音順、◎委員長、○副委員長、¥会計担当、*会員校以外の委員、()所属名	
【活動方針】 1. ホームページおよびメールマガジン等を活用し、会員校における情報共有を図る。 2. ホームページ(英語版を含む)の利便性について検討し、必要に応じて更新、改変する。 3. 広報活動を通じて、全保教の活動内容や成果の普及を図る。 4. 会員校の教育活動の参照とできるよう、魅力的かつ有用な教材等の情報収集を図り、保健師教育技法の向上のための資料を提供する。	
2025(令和7)年度	
達成目標	1. ホームページおよびメールマガジン等によ会員校へ迅速に情報を発信する。 2. ホームページ(英語版を含む)を活用した情報交換について、その重要性・機密性を勘案し、プラットフォームを活用した活性化を検討、実現に向けた企画を提案する。 3. 公衆衛生関連学会等で全保教の活動内容や成果を公表する。 4. 国内外の教育活動報告・研究等を検索し、これからの保健師教育に資する魅力的かつ有用な教材等の情報収集を図り、保健師教育技法の向上のための資料を会員校で参照できるよう提供する。
活動報告	1. 事務局と連携し、定期的にホームページおよびメールマガジンに掲載する情報を募集した。また時事的なトピックス・情報については、三役と協議しながらタイムリーに発信した。 2. ホームページ(英語版を含む)について、理事の交代や委員会の報告の更新にともない、随時更新した。また、理事や会員校に意見を求め、内容の充実と利便性を追求するとともに、委員会において不具合等の確認を行った。 3. 第84回日本公衆衛生学会総会(静岡市開催)において併設展示し、全保教の活動内容や成果の普及を図った。 4. スコーピングレビューの手法を用いて国内外の教育活動報告・研究等を収集した結果を和論文としてまとめ、次年度「保健師教育」にて発表する準備を進めた。